



土浦一高(定時制)だより

1月号

土浦市真鍋4丁目4-2
Tel. 029-822-0137

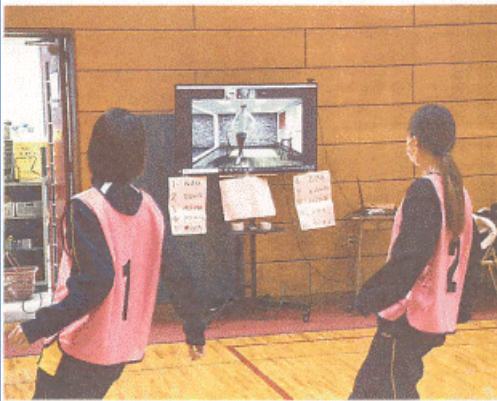
令和3年の授業がスタートしました。

NEWS

2020年(令和2年)12月23日 水曜日

土浦市の県立土浦一高定時制の3年女子生徒11人が、体育の授業の一環でシンガポールのダンサーからオンラインでダンスの指導を受けている。生徒たちはダンサー

と英語で会話をしながら、本格的なプロの動きを参考に真剣に授業に取り組んでいる。来年2月の授業終了時にはまとめのダンスを披露する予定。



画面内のシンガポールの講師に合わせて踊る生徒たち＝県立土浦一高

シンガポールのダンサー 動きや表現指導

久松綾香さん(18)は「ダンスを通して海外の人と話したり交流したりできるのはいい機会」と話した。谷口教師は「コロナの影響で文化祭もできず、生徒もストレスがたまっている。ダンスの楽しさを十分味わってほしい」と見守っている。

(編者正雄)

土浦一高定時制の女子生徒

ネットでダンス習う

授業は国際交流に力を入れている体育の谷口美教諭が、シンガポールの教員を通じて、同国のダンサーで振り師のアルビン・タンさんに授業を依頼したところ、授業はインターネットのウェブ会議システムを使い、日

快語を得て実現した。

12月4、11日の授業では、生徒たちはダンスの基本的な動きを学んだ。画面内のアルビンさんに合わせて体を動かし、約40分間汗を流した。アルビンは一人一人に呼び掛けながら分かりやすく教えた。

本とシンガポールを結んで行われている。11月20日～来年2月5日の毎週金曜、計7回にわたる、午後7時すぎから同校体育館で実施。大型モニターを使って現地と映像をつなぎ、アルビンの指導に基づき、生徒はダンスのための関節を使う動きやリズムの取り方、ヒップホップの基本を習得する。最後には世界的なヒット曲に合わせて表現活動をする。

1月12日(火)、冬期休業明け集会を行いました。

植木校長先生からの講話では、コロナ禍への向き合い方についてお話がありました。「ピンチはチャンス」と言う人がいるけれど、このコロナ禍によるピンチにチャンスはあり得ない、「乗り越える」しかない。そのためには、「守るべきことを守る」ことだ。自分や周りに対して、安心を与えられるよう、率先して節度ある生活をしてほしい、とのお話でした。

連日のマスコミ報道では、感染者数ばかりに目が奪われてしまいがちですが、感染症対策を徹底しながら、今できることに精一杯取り組むことが大切です。

生徒会役員任命式を行いました。

休業明け集会に続いて、新生徒会役員任命式を行いました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止によって、行事がほとんど実施できませんでした。これを受けて、新生徒会長からは、「来年度は充実した学校行事ができるよう生徒会一同がんばりたい」という抱負がありました。新役員の皆さん、一丸となって、定時制を盛り上げてください。



3年生の体育(ダンス)の授業が茨城新聞に掲載されました。